



三戸町町制施行130周年を祝う

三戸町は市町村制が施行された明治22年に誕生しました。県内で最初に町制が施行されたのは、青森・八戸・黒石・鱒ヶ沢の5つで、現在、県内最古の町として残っているのは、三戸町と鱒ヶ沢町の2町のみとなっています。

昭和55年、斗川村・留崎村、猿辺村と合併し、現在の三戸町となり、平成31年4年に町制施行130周年を迎えました。

令和元年10月19日に、記念式典が、三戸町民体育館で行われ、町民ら約300人が参列し、会場入口では、友好都市である静岡県牧之原市のお茶が振る舞われるなど、町の節目を祝いました。

式典は、小中一貫三戸学園三戸小・中学校吹奏楽部による演奏で幕を開け、参加者全員による国歌・町民歌の斉唱と、町民憲章が唱和され、感謝状の贈呈や、三戸町ふるさと応援大使の任命などが行わ

れました。

松尾和彦町長は式典の中で「自然豊かで、長い歴史と伝統のある三戸町を後世に継承し、発展させていくため、130周年を大きな節目、また、新たなスタートと捉え、官と民が一体となり、さまざまな課題を解決し、町を創り上げていきたい」とあいさつを述べ、期待を込めました。

今年度、新たに創設した「三戸町ふるさと応援大使」は、三戸町を広くPRすることを目的に、7人が任命されました。式典当日は、東京青森県人会会長を務める佐藤英明さんや航空自衛隊の越後英さん、青森テレビの佐藤香さんのほかに、式典の総司会を行った青森朝日放送の稲葉千秋さんの4人が委嘱状を受け取り、大使としての抱負を語りました。

アトラクションでは、小中一貫三戸学園三戸小学校5年生代表児童による蛇沼大黒舞や斗内獅子舞保存会による斗内獅子舞、小中一貫三戸学



町制施行130周年を記念した
ロゴマーク

園三戸中学校9年生による合唱が披露され、式典に花を添えました。

その後、ふるさと応援大使に任命された越後英さんによる記念講演が行われ、ブルーインパルス編隊長として夢を叶えた経験に、参列者は熱心に耳を傾けました。

三戸町はこれまで、明治・大正・昭和・平成という時代を駆け抜け、令和の幕開けとともに、町民の皆さまとともに新たな一歩を踏み出していきます。

明治2年(1869)

- ・三戸代官所跡に三戸御役所が設置される
- ・三戸県廃止

明治22年(1889)

- ・三戸町町制施行

大正3年(1914)

- ・三戸に初めて電灯が設置される

大正9年(1920)

- ・三戸に電話開通

大正11年(1922)

- ・小中島発電所建設

昭和2年(1927)

- ・三戸警察署が在府小路町に新築落成

昭和10年(1935)

- ・青森県と岩手県をつなぐ青岩橋落成

昭和28年(1953)

- ・鏡里関、青森県初の第42代横綱に昇進
- ・町立三戸高等学校が県立高校となる

昭和30年(1955)

- ・三戸町、斗川村、留崎村、猿辺村が合併し新三戸町誕生

昭和32年(1957)

- ・三戸町と南部町をつなぐ住谷橋落成

昭和35年(1960)

- ・三戸町商工会設立

昭和41年(1966)

- ・新三戸町10周年記念式典
- ・三戸町健康都市宣言
- ・三戸町民歌制定

昭和44年(1969)

- ・町民憲章制定
- ・町制施行80周年記念式典挙行

三戸町ふるさと応援大使に
7人が委嘱されました



武士沢 友治さん
茨城県牛久市在住
騎手

昭和53年生まれ三戸町斗内出身。平成6年日本中央競馬会競馬学校に合格。卒業後の平成9年騎手免許取得。現在はG1レースでも活躍し重賞は5勝。史上36人目のJRA通算10,000回騎乗を達成している。



越後 英さん
千葉県柏市在住
自衛官

昭和48年生まれ三戸町二日町出身。高校卒業後航空自衛隊へ入隊。航空学生48期生として学び、航空自衛隊アクロバットチームブルーインパルス編隊長(三等空佐)として活躍。

現在は、航空自衛隊入間航空基地飛行点検隊として活動。



下村 青さん
東京都渋谷区在住
俳優

昭和39年生まれ三戸町同心町出身。小学生の時にコペンハーゲン世界青少年音楽祭出場。高校時代にバントワリングを学び、世界大会第3位、全米オープン優勝など数々の栄光に輝く。昭和59年に劇団四季のオーディションに合格し、ミュージカルスターとして活躍。劇団四季退団後は、テレビドラマやスーパー歌舞伎などで活躍。



佐藤 香さん
青森県青森市在住
アナウンサー

昭和63年生まれ福島県いわき市出身。大学卒業後、青森テレビへ入社。11ぴきのねこの大ファン。番組中での紹介や、プライベートで町を訪れるなど、11ぴきのねこの良き理解者として活躍。



清水 章弘さん
千葉県船橋市在住
会社役員

昭和62年生まれ千葉県船橋市出身。大学在学中に、教育系ベンチャー企業「株式会社プラスティール」を起業し、自ら学習コーチとして活動している。平成24年から三戸町教育委員会学習アドバイザーに就任。町の小中一貫教育では、6年生以上の学年に、学習習慣の大切さや、中学生からの勉強のやり方などを伝えている。



稲葉 千秋さん
青森県青森市在住
アナウンサー

平成4年生まれ青森県青森市出身。幼少の頃、11ぴきのねこの絵本を母親から読み聞かせしてもらい育つ。大学卒業後、平成28年に青森朝日放送へ入社。大好きな11ぴきのねこの町づくりを進める三戸町に興味を抱き、プライベートで町を訪れ、かわいいねこ一色の町を応援している。



佐藤 英明さん
東京都新宿区在住
会社役員

昭和22年生まれ三戸町元木平出身。大学卒業後、NTT山形支店長、NTT宮城支店長、NTTドコモ東北常務取締役、NTT東京電話帳代表取締役などを経て、現在は会社役員。在京三戸会の会長を務めた後、東京青森県人会第12代会長を務めており、「青森人の祭典」を開催するなど、青森の物産、観光、文化の発信に努めている。

昭和 50 年 (1975)

- ・旧三戸中学校に町民運動場
- ・町立三宝堂武道館完成

昭和 55 年 (1980)

- ・斗内獅子舞と泉山七歳児初参りが県無形民俗文化財に指定される

昭和 58 年 (1983)

- ・第 1 回陸奥湾一周駅伝大会 町の部で三戸町が優勝

昭和 63 年 (1988)

- ・静岡県榛原町 (現牧之原市) と友好都市提携

平成元年 (1989)

- ・町制施行 100 周年記念式典挙行
- ・第 1 回南部俵づみ唄全国大会開催

平成 5 年 (1993)

- ・馬場のぼる氏、第 22 回日本漫画家協会賞文部大臣賞受賞

平成 7 年 (1995)

- ・松尾官平氏、参議院副議長に就任
- ・94 年産葉タバコ販売代金が初の日本一となる

平成 9 年 (1997)

- ・斗内小、豊川小、大舌小中学校閉校、3 校を統合して斗川小学校開校

平成 13 年 (2001)

- ・タムワース市 (オーストラリア) と姉妹都市を締結

平成 17 年 (2005)

- ・三戸望郷大橋完成

平成 21 年 (2009)

- ・小中一貫教育がスタート

平成 28 年 (2016)

- ・小中一貫三戸学園三戸小学校全施設落成、記念式典挙行

令和元年 (2019)

- ・町制施行 130 周年記念式典挙行



ふるさと応援大使の委嘱を受けた皆さん



素敵な演奏で式典が閉幕



町内小学校代表児童による町民憲章の唱和



参加者全員による国歌と町民歌斉唱



蛇沼大黒舞



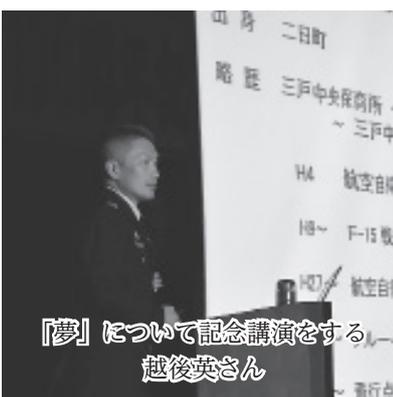
友好都市・静岡県牧之原市のお茶を配布



斗内獅子舞



息の合った舞を披露



『夢』について記念講演をする越後英さん



9 年生による美しい歌声で 130 周年を祝福